

JR連合 政策News

第207号

2011年12月2日

第50回JR連合国会議員懇談会を開催

大詰めを迎えた2012税制改正に向けて参加者全員で改めて意思統一！

国会議員懇談会及びJR連合各単組代表者が緊急要請行動を展開！

2012税制改正が大詰めを迎えている。JR三島会社及びJR貨物が適用を受けるいわゆる「三島特例」、「承継特例」をはじめとして、JRにかかわる各種税制特例措置が来年度末で期限を迎えており、JR連合は極めて重要な政策課題と位置付けて2012税制改正に全力で取り組んでいる。

そうした中、11月24日にJR連合国会議員懇談会は臨時会合を行い、現状分析を行うとともに、今後の取り組み内容の確認を行った。



冒頭松野会長から、「今回の税制改正は今まさに正念場である。我々の要望事項を勝ち取るべく、最後の最後まで各議員が連携して取り組んでいこう！」と力強い挨拶を行った。

続いてJR連合坪井会長が挨拶を行い、「JR三島・貨物にとって税制支援策は経営安定に資する極めて重要な措置である。各社の経営基盤の確立を図るためにも今税制改正を勝ち取らなければならない。JR連合はJR連合国会議員懇談会の各議員とより連携を強化して取り組んでいく」と、改めて決意を示した。

折しも同日民主党税制調査会総会が行われ、その中で数多くの議員からJRに関わる税制改正要望を求める発言が多く出された旨報告がなされた。一方、厳しい局面は引き続いており、国会議員懇談会として緊急要請行動を展開することを満場一致決定した。

それを受けて、翌25日には、まさに主戦場となっている民主党税制調査会の主要役員を国会議員懇談会メンバー及びJR連合ならびに各単組が訪問し、緊急要請行動を展開した。訪問した税調役員に対しJR連合議員懇談会各議員から、「地域経済の発展、活性化のためにも地方路線の維持・確保は不可欠である。そうした観点に立って是非とも党税調としてJRに関わる税制改正要望事項を受け止めて頂きたい」旨要請を行った。

まさに2012税制改正は最終局面を迎えている。JR三島そしてJR貨物をはじめとして、JRが将来に亘り安定経営が維持できるよう、JR連合に結集する全組合員が一致協力して、「2012税制改正要望」を勝ち取ろう！

【第50回JR連合国会議員懇談会概要】

1. 日 時 2011年11月24日(木) 11:30～12:00

2. 会 場 衆議院第一議員会館第10会議室

3. 出席者

(1) 国会議員

[衆議院] 中野寛成議員(代理)、高木義明議員(代理)、松野頼久議員、伴野豊議員、細川律夫議員(代理)、吉田治議員、三日月大造議員、小川淳也議員、梶原康弘議員(代理)、三井辨雄議員(代理)、仙谷由人議員(代理)、

[参議院] 榛葉賀津也議員、岩本司議員、尾立源幸議員、長浜博行議員(代理)、

(2) JR連合 坪井会長、上村企画部長、尾形政策部長、前田教育・広報部長

(3) 単組代表 JR北労組・田原委員長、JR東日本ユニオン・今井委員長、JR東海ユニオン・松尾委員長、JR四国労組・中浜委員長、JR九州労組・徳田委員長、貨物鉄産労・山崎委員長

4. JR連合議員懇・松野会長あいさつ

5. JR連合・坪井会長あいさつ

6. 議 事

(1) 2012税制改正にむけた取り組みについて

- ① 民主党税制調査会への再要請について
- ② 今後の取り組みについて
- ③ 12.2院内集会について

(2) その他について